京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

平壌炭と煉炭（武田同所長の談片）

▲平壌炭購入　昨年も一度來韓平壌炭田を視察したり同炭を煉炭原料として海軍に使用せるは本年四月年度替りよりにて當初は三萬噸の豫定なりしが更に一万二千噸を増加購入することとなれり今後の増減に就ては軍事費の豫算にもよるべきが減ずるとはなくとも増加の事は一寸豫言し難し

▲平壌炭質　平壌炭はアンスラサイトの一種にして其有機性物の含量は煉炭に適する分量を含めり

▲無煙炭と煉炭　無烟炭にも種々の區別あり畢竟地中埋沒の期間長きものは有機揮發成分は少く熱度は高けれども可燃性盛ならざるにより煉炭には適當ならず夫の紀州産無烟炭の如き然り故に煉炭に最適なるは相當可燃性ならざるべからず

▲日本無煙炭　産地の重なるは九州の天草長崎、大嶺の炭田にして目下德山煉炭場は主に大嶺炭を使用し居れり其他紀州産無煙炭は前述の如く煉炭には不適當なり

▲平壌炭採用の趣意　經濟上よりすれば本國産に比し寧ろ高きに失し且つ需要分量に於ても強ち日本にては大なる不足を告ぐるに非ざるも煉炭の如き多大の工費を要し爲めに普通工業用に需用の稀薄なるものなるに拘らず一朝國家有事の場合に臨みては巨額の需用を生ずる煉炭の如きに對しては平時に是等原料の産出に對し相當の保護を加へ置くを必要とす猶は載寧、殷栗鐵礦を八幡製鐵所にて需用するが如きなり

▲平壌に於ける煉炭　曾て佛人の煉炭を企圖せし際に同國より輸入されし煉炭機械は目下平壌鑛業所に保存され居れるが今後都合に依り同機を使用し見んかとの意思あり

租税納付と邦人

在留日本人にして韓國政府に納むる家屋税酒造税及烟草税等を指定期限内に納付せざるときは理事官は右の者に對し國税滯納處分の例に據り之を處分すべき事は本年五月統監府令第十五號を以て發令有りし處今般統監府令第二十五號を以て韓國政府の收納する地税及地方費賦課金に付ても之を滯納したる者に對しては前掲同樣の處分あるべき旨發令ありたり而して地税は第一次に於て土地所有者より徵收せらるゝものにて地方の習慣又は契約に依り小作人其他土地使用者より納税すべき場合に在りては先づ其使用者より徵收し其使用者滯納の場合は土地所有者より之を徵收せらるゝものに付日人土地所有者は此點に注意を要すべしと云

韓南地方の暴徒

韓南に於ける暴徒は過般來海陸相呼應して討伐に努めたる結果首魁黃斗一、其參謀朱丙雲、首魁安桂洪の部將孫德五、同康圭範、同康仁端、同鄭奇贊、同任在文、同都什長林夏中、同都砲手、黃奉太等の自首者を出し首魁沈南一の部將尹洪八、同姜采洪、元金博士の部將林行楚、首魁安洪柱の部將劉又三同申文京、同金永瀧、首魁梁鎭汝、巨魁安桂洪、同沈南一、首魁權澤、同吳巻本等を逮捕し、巨魁林昌槙を戰死せしめ今や韓南に於ては一の全海山の未だ嚴密なる討伐隊の目を盜みて轉々其の踪跡を晦まし居れるのみにて韓南の暴徒は殆んど討盡しされたりと云ふ

國債報償金の後始末

國債報償金は元と大邱なる徐相敦等の主唱に係りたるものにして同地に於ては目下八千餘圓の報償金を積立居れるが今般同人等は之れを有益なる事業に使用せん目的にて今般十三道へ向け京城韓南學會に於て來月七日を期し以て之れが使用方法に就き凝議したき旨の意見書を配布したるが之れが結果として或は銀行の設立を見るに至る可と

電話番號呼方に就て

電話機に依る音聲は其人の自聲の儘を出すものにあらざれば電話にては常に七番は（ナナバン）と九番は（キユウバン）と謂ふが如く交換手が聞き違はぬ樣謂ふを常とす之と同じく千臺の電話番號も假りに之を一一四七番の例にて謂へば之を（センヒヤクヨンジウナナバン）と呼ぶ時は（三四七番）又は（四四七番）と謂ふ樣にも聞かれ又一〇一九番（センジユキウバン）の如きは（三九番又は（四九番）の樣にも聞き取れ易きものにして殊に夜間の如きは些細の行違よりして安眠を破る樣の事なしとも謂ひ難ければ此等千臺の電話番號は必ず一千何百何十何番（イツセン何百何十何番）と明かに呼ぶを雙方の便利なりとすと謂ふ

鳥致院通信

（廿一日發）

▲公州・鳥致院清州の三居留民聯合よりなる三南期成同盟會にては三南京元兩線急速布設運動の爲め會長丸山虎之助副會長西頭謙吉の兩氏は去る十五日上京し京城龍山仁川木浦群山江景の各委員と大運動をなしたる結果母國政府に於ても統監府の計畫を入れ内閣會議に於て右兩線は愈々來年度より起工する事に決定せりと而て右上京委員は昨廿日午前十一時五十八分着列車にて歸鳥し今廿一日午后五時より三南期成同盟會本部に於て之が報告會を開き丸山會長の今回聯合運動の結果を詳細に報告し總て今後の運動方針に付き左の決議をなし閉后十一時半散會せり△各地より委員を上京せしむる場合は當會よりも同時に委員一名若しくは二名を上京（東京）せしむると△鳥致院を起點とし沿線各地に對する細密なる調査を了し更に其筋に向ひ請願すると△同盟三南居留地は本會の目的を達する爲め飽迄で歩調を一にし以て大なる活動を試みると▲昨今は鐵道空人氣の爲め景氣立ち他より移住し來るもの日に増加先を爭つて開店するの有樣當地に於ては之等居留者の爲め市場の狹隘を感じ不便勘からざるを以て豫ての計畫に基き急に區畫內に於ける在來の汚物及び家屋等は之を取退け既に日本式建物數々改築中なり而して不日竣成の曉は七間幅通路となり他に見ざる理想的新市街を形成し目下日々五輛の人力車は間斷なく公州間を往復しつゝあり



第十七席　伯山改　神田松鯉口演

紀「實は其事にございます、一旦獲ましたなれど、斯かる優さき者假令鳥獸なりとも、雛籠の中に押込め置きまするは天地の道理にも戻り、義家樣へ對しても相濟まぬと存せられ去年の春阿蘇山の麓、文珠院の門前にて放ち申し候故、今は手元にあらず他の鶴を差出しては君と父とを欺くに齊しければ態と持參仕らず此儀惡しからず思召下さるやうにとの事にござりまする」とイト本意なく申述べ、主人よりの書面を差出しました、爲義朝臣は紀平治の口上を聞き爲朝の書面を見て、イトも愁然として宣まふやう爲「彼の八郎のことにしあれば、鶴を惜みて父の禍を顧みざるものにあらず全く鶴は放ちしものに相違なからんも、然し今朝廷には讒者道に橫り聰明を蔽ひ奉れば、最早鶴は放ちて無しなどゝ申したとて御信用ある筈なく、如何なる御咎めを蒙るも計り難し、左ればとて放ちたる鶴は今更詮方なし、兎にも角にも八郎の申す旨を奏上致して見る外なし」と、翌日成菩提院の御所へ參つて其旨奏上に及びました、所が上皇御氣色惡しく「爲朝は近頃太宰府にありて武威を逞しうすと聞く、鶴を放ちしと云ふは僞りにて、惜しみて献上せぬなるべし、其罪誅戮に齊し、尚又縱まゝに九州を征伐致せしこと不埒千萬、若し速かに上洛して其罪を謝せずんば、直ちに汝が官を剝ぎ重き罪科に行ふべし」と仰せられた、全く鶴のことは兎も角も九州を漫りに征伐なせしは之れ謀反に齊しきことなれば、爲義も大いに恐懼して御前を退り、早速六條なる館へ多くの御子息を集めて此事如何にして宜からんと御相談になりました、此時嫡男左馬頭義朝進み出で　義「御父上、八郎の擧動誠に以て言語道斷、已れの武勇に誇つて自儘に九州を征伐致し候こと何とも以て朝廷へ對し奉り恐懼の外なし、なれども幸ひにも上皇より其罪を問はせ給はで、却つて鶴を求め給ふこと、八郎に執りて物怪の幸とも申すもの、鶴さへ献上致しなば、八郎の大罪を免さるゝのみならず、却つて上皇の院宣もて新らたに九州總追捕使の任官を見るに至るやも知れざるに、何にして鶴を放ちしこそ殘念なれ、依つて先づ第一に鶴の行末を探求むること肝要に候然かして鶴の往方を探し求むるには好きことあり、そは播摩守阿陪易説はト筮に妙なる人なれば先づ此人を招きて鶴の行方をトはせ給はば最も妙なるべく存し候」と申述べた、爲義朝臣實にもと思召し、早速阿陪易説を召し給ひました、余事を申上げて恐れ入りますが阿陪易説と云ふ人は有名な阿陪晴明の五代の孫に當るので、晴明より代々天文ト筮の術に長けなかく〳〵の名人であります、一體阿陪家に傳はつた此の天文といふのは是れを星學とも稱しまして日月星辰の運行を觀て天地の變動、人事の吉凶を觀察するのであります、矢張元は周易から出たものでありますが之れに陰陽、老莊の說を加味して前漢の時代より一つの術として世間に知られるやうになり、日本では加茂忠行といふ人が元祖でございます、加茂忠行の先祖は、孝靈天皇第三の皇子、稚武彥命、功を以て備中の國守となられた、其の後胤吉備公、靈龜二年に唐土へ渡り五經、三史、陰陽曆算の書を廣く集めて歸朝された、聖武天皇右大臣に任じたまひ、孝謙天皇姓を加茂氏と賜はつた、吉備公七世の孫保憲、勅を以て暦を造られました、其の子光榮、又忠行といへる人が天文道を安陪晴明に傳へた、晴明は安陪仲麿の子孫でありまして加茂氏に就いて天文を學び、其蘊奧を究め、暦算推歩の術兼ね習はずといふことなく、實に一代の大學者となり、天皇より大博士の位を授けられました、寛和二年六月二十二日の夜、時の帝、花山天皇位を遁がれんとしたまひ、薙髮して花山元慶寺に入らんと、密かに宮を出で路、晴明の宅の前を過りたまふ、晴明たま〳〵暑を避けて庭にあり、仰ぎて星の位を去ふを見て驚き、天象異を呈す、天子位を去るの兆し何ぞ夫れ怪しきや、帝垣の外にて聞き給ひ笑ひ走りて花山寺に入り給ふたといふ話しがございます



京城新報

日本は負債國也

列國人の傾聽に價す

伊藤公の對外意見は年と共に幾分の進境をなせり、公が今回大連公會堂に於てなしたる演說は、眞に堂々として帝國の意志を代表したるものと云ふべし、公は先づ日本の方針は固より門戶開放及び商工業上の機會均等にあるを闡明し、最後に「日本政府は淸國の改革を成功せしむる上に於て若し直接の援助を爲す能はざれば間接に援助すべきものなりと信ず、何故なれば一日の長あるもの好意を以て後進國民を誘導啓發するは其義務なれば也而して利害共通の關係ある淸國の發達を圖り總て極東全體の平和に貢獻せざる可らず余は滿洲の發達は滿洲人と其他當地方に利害關係を有する諸國人互に共通の利害增進を計ることによりて期待さるべしと信ず」云々と述べて更に內外人の組織せる大連倶樂部に於て英語を以て演說せり曰く「日本は負債國なり外國に債務を負ふ日本が鋭意利權の擴張に努むるは是れ即ち債權國の利益をも保護するものなり日本は機會均等主義に依り滿洲に利權を張り日淸共通の利を獲んとするの外他意あるに非ず」云々と是れ列國人に對して能く帝國の眞意を闡明したるもの也、實に日本は負債國也、日本が鋭意利權の擴張に汲々たるは債權國の利益を保護するものなりと曰ふ、然るに日本の爲すことに猜疑の眼を放て稍もすれば日本は他に野心あるが如く推するは全く謂はれなき事なりとす、日淸は現在將來共に利益の共進を計らざる可らず、而も兩國の利益を增通することに努むるは決して機會均等主義に反するものにあらず、若し猜疑の眼を以て之を妨害せんとするものあらば歐米の平和を傷けんとするものにして且つ債權國に對する債務を果すことを妨るもの也、是れ獨り日淸兩國の不利のみならず、亦債權國の不利益たる也、帝國の對外政策は常に此方針を以て進みつゝあるのみ、滿州及び韓國等に於ける官憲の施設も人民の企業も總て此方針に據由す、偶々伊藤公によりて其眞意を內外人に告知するを得たる也、公の位置聲望共に外人に對して能く帝國の代表者たるに恰當す、此代表者によりて以上の如く聲明せらるゝに於ては列國人は必ずや帝國の眞意を解せられしならむ、帝國が滿州の經營に力を盡くす所以の理も、其利權の擴張に汲々たる所以も總て氷解せられしならむ、余輩は帝國の眞意を適當なる代表者により適當なる地に於て發明せられたるを喜ぶもの也、此發明により少くも滿州に於ける帝國の位置を鮮明にし從て韓國に對する帝國の立場をも明にしたるの感なきに非ず、日本は負債國也、平和の圈內に於て飽迄利權の擴張に盡瘁せざる可らず、旣に其眞意了解せらる、列國は決して帝國の經營に對して支障を與ふることなかるべき也。

東京電報

國債整理局の廢止

新に大藏省に國債局を設置し臨時國債整理局は廢止さる十一月五日より施行の旨告示せり(二十三日夜着)

門司稅關の新設

門司港に稅關を新設し十一月五日より施行(同上)

水產事件の判決

本日水產會社事件の判決宣告あり濱谷正樹は懲役七年に又鈴木久次郎は重禁錮四年に處せられ外六箇月乃至三箇年の處刑言渡しあり(同上)

小川大將の葬儀

陸軍大將正三位勳一等功二級小川又次氏の葬儀を本日青山齋場に於て執行し參列者は數百名あり最も盛儀なりき(二十四日夜着電)

豐明殿の午餐會

十一月三日天長節には豐明殿に於ける午餐會に皇太子殿下を始め奉り皇族內外高官を召さる(二十五日)

伊公北京行中止

伊藤公は北京行に關する淸國政府の求めに應せず中止することに決したり(同上)

統監府豫算新事業

統監府並に所屬官署の豫算は既に決定を見たるが新年度に比し增加せる新事業に屬するもの左の如し

三百萬圓の增加 兩鐵

道經營費

中學校建設費及小學校補助費三萬圓等也

辯護士令公布

辯護士令、辯護士登錄規則等の公布ありたり

步兵操典の改正

改正步兵操典は此程發布されたるが最も進步せる點は散兵戰術に至りたる也(同上)

關門海峽費不足

關門海峽費は總額千三百萬圓なる

韓國特許法公布

韓國特許法、意匠法、商標法、實用新案法の四法令を本日公布され來年一月一日より施行さるゝ筈(同上)

駐屯軍法會議令

韓國駐剳軍特別軍法會議令公布され十一月一日より施行(同上)

紐育電報

渡米實業團消息

實業團一行は二十三日ボストンに着し二十四日ユニオンに赴きペルリ提督の墓に詣で花環を捧げたり(廿五日東京經由)

歐州電報

露伊兩帝の會見

露國皇帝は伊太利皇帝に會見を遂げらる(廿五日)

北京電報

露國の對淸失敗

露國政府は淸國政府に對し利益均霑を名として愛琿、齊々哈爾鐵道合同布設を申込みたるも拒絕されたり(二十五日着)

大連電報

防波堤工事の進捗

該工事は頗る順調なりし爲め大に進捗せるが明後年竣成後はタコマ、ミチソダの巨船をも容るべく且つ五千噸位ひの汽船十三隻以上を繫留し得べし(二十五日着)

雜報

●鐵道と所屬問題

鐵道院合併の事は屢次報導する如く既に方針旣定したるも只統監の權限留保に就て目下審議中なれば制度の發表は尚多少の時日を要すべし實際韓國鐵道の現在及將來は假令鐵道院合併の后と雖或は新線の布設に或は土地の買收にて統監府の措置を仰がざる可からざれば統監としては大小となく容喙し得る必要あり如何なる形式に於て其權限を保持するや隨分面倒のものあるべしと

●歲出增加と財源

各部の豫算決定も既に目睫の間に迫り歲入の方面に就ても目下調査中なるが時勢の進運新擴張に伴ひ國費の增加は避くべからざる趨勢にして來年度の如きも多少增額を見るべきは疑を容れず假りに消極的方針に依るとするも尚四五十萬乃至百万の增加を免かれざらん固より當局者は種々財源の調査に努め國有地の調査を始めとし徵稅を確實にして財源を得る方法を求めつゝあるも百萬圓內外の增加は今日の場合困難なるが之に對し比較的實功の顯著なるは下級徵稅機關の整理に在り乃ち從來の該機關は人手不足の爲め面、洞長等を取扱はしめつゝあるが因襲の久しき其種々なる情弊の下に實際の國庫收入は大なる徵稅費約一割に上るの遺憾あり實に徵稅費は多きに過ぐるも一時の方便として之を忍び居れる次第なるが該機關を整理し經費を節減する時は新に課稅せずして優に百萬圓位の歲入を得るに足るべしと云ふ

●移民と沿岸航路

韓國東沿岸の各地は吾が山陰北陸と呼應相對の間に在りて同胞の移民地として頗る有望なるも交通不便の爲め其發達亦遲々たるを免れざるが如し尤も釜山汽船會社及吉次郞氏の命令航路經營あるも孰れも其港地は相當の發達を爲せる諸港にして漁場其他移民開拓上の必要より見れば隔靴掻痒の感なきを能はず元來慶北江原咸南北の沿岸には到る處漁民の蝟集を見るも彼等は交通不便の爲め永く定住の計を定むるを得ず恰かも利を追ふて奔り去るの觀あり現に江原道沿岸を出入する物資の如きは浦項より釜山に搬出し釜山より元山に廻輸せられ更に元山より各地へ韓船に依りて配布せられ居る爲め著しく其價格を騰貴せしめ其不便不利洵に言ふ可からず斯かる狀勢なれば東沿岸に於ける同胞は常に望鄕の嘆を發し其利は以て其不便より受くる損失を償ふに足らず爲めに少からず其發展を障害せられつゝあり故に吾が同胞の移住を奬勵し沿岸の繁榮を計らんと欲せば未開地を隈なく縫航するの便を開き以て自由に彼我の有無を通ずるを要す則ち移民の急先鋒たる航路は目下の急務にして之が爲め要する少許の補助は吝むに足らざるも韓國の財政は多く希望に副はず實に痛嘆の至りに耐へずと某要路の人は語れり

●仁川內港の新設浮標

今般韓國燈臺局告示第八十九號を以て韓國西岸仁川內港へ試驗の爲「アセチリン」瓦斯浮標の新設を爲し來る廿五日より實施の筈なるが聞く所に據れば仁川內港に一箇の桂燈浮標を碇置し其位置は港內既設桂燈浮標の南方にある沙堆の西端大低潮時の水深一尋四分の一の所に放置し浮標は鋼鐵製楕圓形にして其上に櫓形を組立て頭部に燈器を載き燈火の中心は水面より高さ十尺にして燈火は「アセチリン」瓦斯明暗燈(無等)にして全度を照輝し燈光發射の時間は明暗各五秒時どし光色は紅色を常どするも時どしては白色をなすことありて光達距離は五海里なり而して浮標より測定せる磁針方法は如左

永宗島德貴峯二八一呎高地は北三十六度四十分西▲大月尾島三五三呎高地は北十九度十分東納島三七呎高地南八十九度東

●巡邏船の觀覽と仁川

鈴木關稅總長事務取扱が曾禰統監其他重なる文武官及び新聞記者同通信員數十名を仁川港に碇舶中なる光濟號に招待して同港に繫留せる巡邏船六隻を觀覽せしむべしとは既報の如くなるが統監は今二十六日午前九時四十三分仁川驛着列車にて下仁し同十時三十分送迎汽船にて光濟號に至り午餐を喫したる後巡邏船の數々なる餘興演習を參觀し午後二時五十分上陸腕車にて鮮樓に入り一泊翌日午前中歸京する豫定にて尚は仁川市民は統監の爲め盛大なる歡迎會を開催する計畫なりしも固辭せられしを以て之れを見合民團より二十發の烟花を打揚げ且亦立網を觀覽に供したる上其獲たる鮮魚をば統監及び一行の人々に贈るべしと云ふ

●統監工業傳習所視察

既報の如く曾禰統監は昨二十五日午前九時三十分石井少將外波大佐の兩武官及び佐竹秘書官を伴ひ東大門內工業傳習所視察に赴けり農商工部よりは趙大臣木內次官菊池商工局長鶴岡書記官及學部より俵次官度支部より鈴木次官代理並に目下入京中の眞野文部省普通學務局長楷野滿鐵會社理事參觀し同所顧問平賀博士迎導して實習中の作業及び陳列所等を視察し了つて樓上控室に於て茶菓の饗應を享け十一時三十分歸邸したり

●京城會議所臨時總會

京城商業會議所にては廿五日午後七時より臨時總會開會鐵道問題に關し種々協議せり

●韓人法官合格者

隆熙三年法部令第四號司法官試驗規則に依り曩に施行したる試驗合格者は金基賢、鄭浚謨、李宗夏、柳完永、嚴定、李圭南、尹鍾榮の七名なりしと

●小學生徒の修學旅行

京城日本人小學校にては今回修學旅行を企て一昨二十三日は第二小學校尋常五年生百四名を引率して水原へ赴き昨二十四日は尋常四年生百二十名を引率して仁川へ又明二十六日は第一校の尋常五年男生及尋常六年女生百八十名を水原へ修學せしめ第三校にても尋常六年男女九十四名を開城へ修學旅行せしめ一泊の上歸校する筈なりといふ

●小學校の遠距離旅行

本年は虎疫流行の爲め秋季運動會の開催を見合せたるが之が爲めに京城小學校にては別項修學旅行を了はりたる後更に高級學生四十名を伴ひ安東縣迄修學旅行を試みんとの企てあるも經費豫算なきを以て右運動會費の流用を乞はんと目下協議中なり其費用は一人五圓の見込にして內三圓を補助し二圓を生徒より出費せしむる豫定なりと云ふ

●大韓工業會の新計畫

除隊軍人の組織に係る同會にては其後三南地方に廣大なる土地を購入し農事經營に着手する由なるが該事業にして成効せば年々七十万圓の收入を得べき由尚ほ政府よりの保護金に就ては同會總裁趙義淵より此程更に李總理に出給を促す所ありたりといふ

●郡主事の新任と豫算

內部に於ては來年度より全道の各部に日本人郡主事を配置するの豫定を以て來年度の豫算に計上したる總額は約三十萬圓なるが其他の各局課の總豫算も既に審査を經たるを以て不日度支部へ提出の筈なりと云ふ

●京義線の食堂車設置

從來京義線には食堂車の設けなかりし爲め不便少からざりしが今回申込もありたれば二十六日之を增結することとなれりと云ふ

●工傳の平賀博士歡迎

工業傳習所にては顧問平賀博士を歡迎し一昨日職員及農商工部當局者と共に纛島へ赴き歸途舟を驅りて龍山へ出で舟遊を催せり

●京城民會は本日開會

京城民團決算に對する再審查は去る二十三日の委員會に於て終了せるを以て今二十六日民會を召集して附議するに決定せりと云ふ

●高女學校の修學旅行

京城日本人高等女學校にては別項小學校の修學旅行に加はり學生一同水原へ赴く由

●キ元帥と連絡船

キ元帥は三十一日京城發釜山より軍艦へ便乘の筈也しも連絡船に便乘さるゝ事と決定

●米國婦人觀光團退京

東洋漫遊中なる獨逸人ベント夫人の一行六名は滊船一隻を借入れ瀨戶內の景勝を觀覽したる後去る二十三日夜釜山より入京せしが今二十六日午前九時十分南大門發新義州より安東縣に渡り北京に向ふ豫定なりと云

●統監下仁と臨時列車

鐵道廳にては別項鈴木關稅總長事務取扱の案內を受けて本日巡邏船觀覽の爲め下仁せる賓客の爲め午後三時三十分仁川驛發同四時五十分南大門驛着臨時列車を仕立つる筈

●明石軍參謀長の着發

暴徒討伐狀況視察の爲め南韓出張中なりし軍參謀長明石少將は去二十三日午後八時五分龍山着列車にて歸任せしが更に明廿七日キ元師出迎の爲め安東縣へ出張の豫定なり

●鐵道廳のキ元師出迎

統監府鐵道廳にてはキ元師出迎への爲め古城平壤營業事務所長と大屋長官代理をして安東縣まで出向せしむる筈なりと云ふ

●龍山通信

(廿五日支局發)

▲龍山の臨時民會 龍山民團にては明二十七日臨時民會開會せらるゝ筈具議案如左

一、公醫囑托に關する契約締結の件

一、四十二年度歲入出豫算更正の件

一、龍山居留民團功勞者表彰規則制定件

▲民團と瓦斯會社 久しく結むで解けざりし京城民團對日韓瓦斯の道路使用に關する交涉事件は遂に去日圓滿なる解決を告げ會社は農商工部大臣の賦課する以外道路使用料を民團に納附するの件を肯諾したるを以て龍山民團にては如期者同民團區域內道路使用料を課するも決して不當なる措置に非らずとし近日交涉を開始する筈なりと云ふ

▲大久保民長出京 大久保民長は一昨二十四日出京し總理大臣の招宴に出席したり

▲選擧名簿縱覽期日 來るべき總選擧の準備として去十一日來選擧人名簿縱覽を許し居たりしが昨二十五日縱覽期間滿了せり

●仁川運動會盛況

仁川日本人倶各學校運動會は既報の通り一昨日觀測所下廣地に於て擧行したるが當日は秋空一碧暖かなる氣候にて人出も例年に比し少からず競爭も嶄新に趣向面白く重なる商店は業を休みて市民一般愉快に此日を過ごせりと

●渡邊少將入京期

南韓討伐隊指揮官渡邊少將は討伐狀況報告の用務を以て兩三日中に入京し軍司令部を訪問する筈なり

●獸醫分團發會式

二十三日午後二時より軍司令部に於て獸醫分團發會式あり大久保軍司令官の訓示其他講演等ありたり

●岡內部次官東上

內部次官岡喜七郎氏は二十六日午前九時南大門發東上の筈

●小川事務官出發

農商工部事務官小川

鶴二氏は日英博及名古屋福岡兩共進會に對する韓國出品の現狀視察及出品事務打合の爲め曩に出張を命せられたるも公務の都合に依り延期せしが愈々明二十七日出發すと

●眞野文二氏來着

文部省實業學務局長の同氏は去る二十三日入京天眞樓へ投宿す

●山田中佐の出發

滿韓視察中なりし參謀本部附山田中佐は廿五日龍山發歸鄕せり

●滿鐵理事の入京

清野滿鐵理事は一昨二十四日夜入京して天眞樓へ投宿したりと

●小松書記官歸任

北韓視察中なりし小松統監府書記官は一昨廿四日夜歸任したり

●奧大藏技師入京

大藏省技師奧健藏氏は去る二十三日入京京城ホテルへ投宿せり

●岡軌政氏の入京

判事岡軌政氏は一昨二十四日入京旭町不知火旅館へ投宿したり

●入佐龍丸氏入京

商學士入佐龍丸氏は去る二十三日入京し三日月旅館へ投宿せり

近事片々

▲煙散霧消したる統監更迭は又もや東京邊にて噂に上る是も亦煙散霧消に終るか

▲統監病狀諸方面より否認さるゝも事實胃癌と諸醫師の診斷一致云々東京日々報ず

▲亦曰く元老協議結果長谷川大將後任に決し來月中旬發表說消息通間に信ぜらると

▲是れ單に消息通に信ぜらる所たるに止るか實際さる事實の存ずる者か甚だ可疑也

▲京仁間には近々統監歸東すべしとの噂チラホラ有り此間の消息は所謂知人ぞ知る

▲片々は素より統監の去就に內外大勢上重きを置かざるも此際勇斷を揮はせたし矣

▲曾禰子の產業政策には幾分世人望を屬せり兩線起工に百万圓宛の計上は聊か呆然

▲韓國經營には例の成行主義を行られては困るテキパキとして茲一生面を開けかし

▲現狀の儘では韓人も在留邦人も倦み疲る統監樣何とか奮發さつせい慈悲じや情蛇

▲查氏とローヅ氏在て英國の南阿政策一決せり我對韓經營は何人の手に成るにや

▲曾て露紙新時報は我東拓會社を目し英の東印度會社の如きものならんと評しき

▲何ぞ計らむそこ處か唯是れ小利益を擧る爲に懊惱底心す今は露紙も呆れ居るらむ

▲現在帝國の韓國經營振りでは甚以て心細し何とか局面展開位は行りそう者じやが

▲成竹計策なき者が何人寄れば迚到底爲目すべき事蹟は擧らず借も困つた事だなア

▲統監府の多士濟々たる幕僚連は每日何事をなしつゝあるかとは此頃在留邦人の疑

▲祖國の米價益々下落名古屋の定期市場は九圓八十錢の安直を見る隨分突飛の相場

▲愈以て韓國米の輸出先を擴張するの必要を來たす當局者は之に就て何の政策ある

▲農業を獎勵するも農產物下落しては農民は骨折損の勞れ儲け當局者須らく考慮せよ

▲財政紊亂の爲に破產せんと汔噂さありし伊太利は漸次整理して今や借金を償却す

▲在外卅四億の公債を買戾して徐々富國の基を礎く之れ軍備擴張を制限せし結果か

●礦山業と外人の活動

近時の韓國礦業界に漸く活氣を帶び來り

關西の鐘城に於ける等しく事業に着手し誰漸く目覺しきものあらんとせり其結果韓人本邦に於ける韓牛の販路が如何なる地方迄

澤氏等の經營せる稷山の金礦も英國某會社の礦業を增し從つて收入の道開け近業生活及べるやに就て其筋の調査したる處によれ

との間に投資の約成り雲山の金礦は依然盛業に惱める地方民を救濟する一助たらんと

ば大坂、兵庫、岡山、廣島、山口各府縣を

ては一層販路の擴張に努むべしといふ

●獸疫豫防費裁可 獸疫豫防費として五

六百九圓豫備金より支出の件裁可あり

すこし誤憂氣が付いて芽出度き事なり

●龍山の鵬窒扶斯 龍山白濱町十一番

大和某方同居川端三吾(二)は一昨廿四日夜

る韓人の……等の如き地方にも其の間に投資の約定の雲山の金鑛は依然盛に傚める地方民を救濟する一助たらんと
在りし英人の經營に係る遂安の金鑛と近來頭を呈して其使用する韓人夫は約五千人にする如きは誠に喜ぶべき現象といふべし
採掘を再開し其他伊太利の厚昌に於ける佛及べるが如き外人の礦業界に於ける活動は

●本邦内地の韓牛販路

は大阪、兵庫、岡山、廣島、山口各府縣を主として大分、福岡、長崎、香川、徳島、愛媛、和歌山、滋賀の各縣迄渉りるが出筋に



●福井茂兵衛優(一)

▲當地壽座に出演する

我國新派劇界の開祖と云へば角藤定憲、川上音次郎、福井茂兵衛の三優にして角藤は既に故人となり川上は舞臺を退いてマネージャとなり今日只福井一人老いて益々盛んに新進の諸優と相角逐して更に遜色なく新派劇界の名優として斯界に老大の尊敬を拂はれつゝあるが、今回幸ひに當地壽座に來り半島の劇界に一大革命を與へんとするに際し、曾て彼れが某記者に語りたる懐舊談を左に紹介すべし

僕は萬延元年二月に江戸淺草猿若町一丁目中村座の前茶屋丸鐵で産聲をあげました、所謂生粋の江戸つ兒です、幼名は茂三郎と言つたんですが戸籍係が茂兵衛と書誤つて置たので到頭茂兵衛になつて仕舞ひました父は仙臺侯の料理方で御幕時代は却々羽振りも利かしたそうですが維新の革命に及んで彼の上野戰爭の當時幕府方に黨し彰義隊を下谷摩利支天に隱匿つたので官軍の攻撃に逢ひ遂に蜂須賀侯の臣仁木又一郎といふもの丶刀にかゝつて果敢ない最后を遂げたのです、母は此の時三十三歳でしたが至つて氣丈夫な性質で、僕の口から申すも異なものですけれども頗る貞女でした、別れて後は一人の幼ない僕を杖柱と頼み寂しき寡婦暮らしも厭はず只成人の後には必ず父の仇を討つて恨みを霽らしてくれよとそれのみ明暮れ申して居りました、それで其の頃龍虎隊といふ無頼漢團體取締の異中某と云ふ人(今も現存で確か埼玉縣の警察署に奉職して居る筈です)が撃劍道場を開き數多の門弟を養つて居たので、僕も入門することゝなつて以來毎日無暗に竹刀を振り廻はし餘念なく稽古を嗜んで居ました、が、爾う爲うする内世間も鎭まり眼指す仇敵の仁木又一郎も亦死去して仕舞ふといふ有様で折角の苦心も可惜水泡に歸したので口惜しうムいましたが最早や此上は是非がないので寧ろ出家して菩提を弔ふに如かずと考へ芝の増上寺へ入門しやうと思つたが當時の慣例で平民から寺士になることは許されなかつたのです、そこで市川某といふ御用達へ養子に行つて漸くにして僧侶の籍に加はる事が出來ました此時恰度十六歳でした、爾來姑くは浮世の風波をよそにして身には墨染の法衣を纏ひ手に珠數を持ち殊勝にも念佛三昧に日を送つて居りましたが、三田の燒討の爲めに増上寺も類燒し再び家に歸らんければならなくなり遂に還俗しました、けれ共以前とは異つて餘程零落して居たから何んとかして自活の道を講せねばならぬが未だ弱年の事であり從つて腕に覺へのあらう筈なく種々の辛い經驗を嘗めました、靴屋を開業しては失敗し豆腐屋と替へては損失をし、八王寺へ轉じて百姓を仕たがこれも辛抱が出來ず、或は私立學校へ入學し甚だしきは友達に勸められて藝妓屋までも遣たが何れも手馴れぬ商賣で悉く不成効、自暴の捨鉢に驅れ蔡す折柄不圖壯士の仲間入りを致し議員選擧に關係して奥宮謙三等と共に通俗自由公談會を組織し盛んに自由討論を闘はして居たが忽ち警視廳の耳に這入つて禁止されました(續く)

●龍山 自轉車競走會

▲頗る盛況を極めたり

小春天和麗々と晴れ渡りたる一昨二十四日龍山に於て京龍聯合自轉車競走會を催されたり場所は龍山停車場前立つに好く居るによき枯芝の廣場に埒をしつらへ高く澄みたる空に秋の氣滿ちて森々と詰め懸けたる見物の群集が氣も昂りたる面持も心地よかり競走は午前十時頃に始まり總て十五回一回より六回までは唯面白しと見しのみ七回目の來賓競走は多少の可笑味を加へて觀客を喜ばせ八回目頃よりは一二流撰手の混交競走となりしが一着は統監府の牧野二着は韓人嚴福童稍見ごたえあり第十三回は二十五週京龍一流の撰手相川牧野江藤の組合せなりしが相川が十四分十秒にて一着となりしも競走中片手を把手より放したりとて二着の江藤(十八銀行)一等賞を占め第十四回三十五週は第二流撰手の競走にて一着は佐々木二十一分十二秒にて決勝點に入り賞品の獵銃斜に背負ひラーヂの鞍上ハンドル輕く抑へて一週し觀客の喝采を浴びて嬉し氣なり最後は之れが此の日の見物たる聯合一流撰手競走にて相川(黄金町自轉車屋)牧野江藤嚴福童といふ組合せ六十週の長距離を如何に乘り切るやらんと群集は出發前より早や手に汗を握りしが相鬪の銃聲一發空に響くや音も無く軋り出でし四人の撰手は何れも落着き拂ひし武者振り見る目に心地好く二三十週迄は互に後れては拔き拔きては後れ唯觀客を揶揄すどやうに見わしが四十週する頃相川の足急にペタルを蹈む…よと思ふ間にスーと敵を拔いて滑べりぬ走りるとは見ぬず唯滑りにすべりて手馴のラシクル鞍上鮮かに敵を二週後殘し三十五分にて決勝點に入りしは目覺しかりき二着は牧野三着は江藤何れも好くも乘つて居たり相川が優勝旗を右手に受けて賞品は好みの自轉車を左手に支ゑて莞爾せし時群集のドツと囃して散せしは正に午後五時四十分

●飲代の替りに自轉車 ▲色男大に器量を下ぐ

仁川京町居住の野田安兵衛は龍山老松町居住の鐵工杉森米太郎と共に去る二十三日午

●掏摸と間違ふ色餓鬼 ▲流石の刑事も閉口す

一昨二十四日龍山停車場前にて催ふされたる自轉車競爭會の群集の中を一人の若者が彼方へ潜り此方へ出でつ何か必に一物あるらしき目つき唯ならぬを龍山署の栗林刑事が見着けて此奴怪しと其の擧動を注目して在るとは知らぬが佛の若者は之れも觀客の一人なる年若き婦人の背後に立ちしが刑事は何か物せんつもりならんとイザと言はゞ躍り蒐らん構いしてジッと見遣れば這は如何に若者が煩はしき手振りして秋の野邊に春の思を遣らんとする態なるにぞ流石の刑事も呆れ果て其手首を押へて叱りつけ追歸へせしさいふ其の若者は龍山元町三丁目西洋雜貨商井上支店雇人徳島生れの西村一高(二三)といふ馬鹿者

●道連れ女房の置去り ▲朝鮮へ連て來て放逐

下關生れの本永セキと云ふは内縁の夫なる君名義雄と云ふに連れられて一週間前仁川に渡航し來りたるが杜杖とも頼む夫は如何なる仔細のありてかセキをば振放して行衛さへ定かならぬようになりしかば忽ち身体谷まり歸國するには旅費なく如何はせんと思案の末搬へ持てる單衣を入質せんとしたるも其筋の承認を得ずば預る譯に行かぬとの事なるより昨日宮町派出所に其旨訴出で中西質屋より若干を借り受けて夫の行衛を搜し居るが世には薄情なる男もある者かな

●五圓紙幣の行衛

京城大和町三丁目番戸不詳無職長崎縣平民萬吉長男御厨榮(十七)は去る廿三日午前六時半頃實父の命に依り本町七丁目番戸不詳雜貨商川口徳二方に至り白米一斗を買ひ求め五圓紙幣を以て右代價を支拂ひ三圓六十錢の釣錢を受取り歸宅したるも該紙幣は机の中に二枚重ねて入置しものゝ實父の言に初めてこれを知り大に驚き直ちに父子同道して前記川口方に赴き其旨店主に談判せしが代價支拂ひの際手渡せし同店員福井縣平民棟田芳治(三十)を詰問せしも要領を得ず遂に此旨南部署に訴ね出でしが係官の出張を煩はし關係者一同を嚴重取調べたるに万吉父子の申立は事實らしく芳治の擧動不審の點あれば本署に連行し引續き尋問中

●仁川署の淫賣狩

仁川宮町二丁目料理店初音方下女足羽はる(二十)は昨日午前一時過ぎ仲居生島まさの媒介にて月尾島春木方に宿の舟乘胡本伊太郎に對し金二圓の約束にて同じく同店の仲居生島まさ(三十)は同田舟乘笑田滿太郎に對し金二圓にて密賣淫中警官に踏み込まれて本署に引致せられたるが之と同時に右初音の營業人大井はつは目下釜山に旅行中なれば長女のさき以屋人をして密賣淫をせしめたるのみならず同日龍山老松町井本榮吉(四十)を無斷にて宿泊せしめし行爲は營業違反として其筋に告發せられたり

●刑事係を嘲弄す

京城御成町百五十一番戸人力車夫佐藤重太郎(六十)は一昨日午前零時過ぎ京城本町一丁目裏通りの露店に於て一人の朋輩と鱈腹飲酒中南部署黑澤刑事係が搜索用にて通り掛りたるが朋輩が同刑事を押ね何か言葉を交し居ると重太郎は法律の講釋なら自分がして吳れるとて殆んど刑事を嘲弄罵倒して始末に了ねざるに依り遂に官吏侮辱として本署に連込まれ酒本警部目の玉の飛出す程叱つて釋放したり

●韓人唖の攪擾ひ

目下住所不定姓名不詳の韓人一昨廿三日午後九時卅分頃本町七丁目百十八番戸古物商竹市橋之助方店先を徘徊し陳列の物品を窃取せんとする處を巡邏中の南部署密偵に發見せられ驚きて逃走せるを追跡して難なく逮捕し本署に引致せるが何分同人は唖のとなれば取調べに非常に困難なりとは厄介な奴なり

●熟醉の上の亂暴

龍山旭橋通り八十一番戸度支部印刷局職工野池源之助(二九)は一昨日午後七時卅分頃泥醉して明治町三丁目街路に於て亂暴を働き韓人の煙果を路上に抛ち尚ほ居合せたる會洞居住韓人金龍漢を殴打し顔面に微傷を負せたる騷ぎに南署警官同人を本署に連行して拘引處分にし翌朝厚く說諭の上放還したり

●靜子の一度逃げ

既報情死し損ねたる仁川敷島遊廓日進樓の抱娼妓靜子は其後一室に閉籠りて味氣なき世を喞ち居りたるが去る廿三日又候無斷にて家出せし儘行衛不明となりたるにぞ其筋へ捜索願を出して行先を捜し居たるに花町三丁目居住の伊東某方に潜伏し居たるを發見し直に樓主に引渡されたりとは困り果てたる女郎なり

●龍山民團の施療

久留米市日吉町當時龍山元町居留元田元吉(三二)といふは此程より病氣に罹り居るが縁邊も無く金も無き苦しさに龍山民團役所に救助を願出でし爲め同民團にては一昨二十四日同人を上田病院へ入院せしめたり

●東京趣味の勢力

近時交通機關の發達に伴ひ地方人士の東京趣味は著しく増加し來れるは爭ふべからざる事實なるが一方には東京に往りても三越吳服店の如きは通信販賣の方法を講究し無代配付する商品目錄の如き之を讀めば坐ながらにして注文の出來る仕組となしたれば當地に於て東京趣味の服裝を爲すもの年と共に多きを加ふるに至りたり、現に本月二十日の本紙にも掲載の三越吳服店の通信販賣の廣告に依れば同店が地方販賣に關する設備中々整へるを知るに足る斯くの如くすれば人生の必要品は何品にても供給せらるゝに至るべけん

●新町の健康診斷

廿二日新町遊廓健康診斷に於て娼妓の健康診斷を行ひしが嬪に部故障の爲め入院せし夏子、颯子、春香、寿人の諸嬪は依然として退院せず松樓の笑子は去廿一日奇麗に足を洗ひ廢業したるがろんじ其處等に誤落踏筋も有可

●迷兒

廿四日午後零時卅分頃明治三丁目通り共同便所前にて竪縞の着物を着たる五歳位の男の子迷子となり居たるを通行人の申出に依り南部署にて保護を加へ置けるが心當りの者は至急引取方願出づ可しと

●一昨夜の新町 遊廓の色餓鬼は總計百十五人にて此揚高六百五十六圓九十六錢で

六百九圓豫備金より支出の件裁可あり

大和某方同居川端三吉(三三)は一昨廿四日腦室扶斯に罹り避病院に送らる

●飼主不明の山羊

廿四日山羊一頭明治町方向より迷ひ來りたるより本町一丁目裏通り三十三番戸三好定之進方に飼養せりさ

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

●十月●廿六日●舊九月●十三日●五黄先負己未

たさん△一白●衰退を意味す新事見合せの事親子兄弟の事に付き出損又は難義あらん△二黒●商態を疑ずる等吉旅行轉任等何良好音信によ小驚又は小悶あり△三碧●厄運の日なり、進退賑引度を失し易し盗厄水損防ぐべし△四緑●沒滅を來す事多し新事効なし交際上に注意し貸借取引懸念すべし△五黄●中宮日なり衰運の日とす創始改易の事凶家庭又は近親間不和中絶避くべし△六白●快欣の日なり旅行相談依頼取引等幸先よし△七赤●榮進の日旅行入學門婚姻養子起業開業開店等良好△八白●平穩の日なり官職業務上に失錯間違なきよう懸念すべし△九紫●進退の日也常務常業の事差障なし誘惑防ぐ可

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

第五期決算公告

貸借對照表(明治四十二年九月三十日)

資產之部

諸貸附金	五三六、二四五、五六
未拂込株金	七五〇、〇〇〇、〇〇
不動產	五七、三九四、九三
營業用地所家屋	九、六二〇、六四
什器	九〇〇、〇〇
假渡金	二、一八四、三八
金銀	八、七四二、〇〇
合計	一、三六五、〇八七、五一

負債之部

資本金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
積立金	三五、〇〇〇、〇〇
滯貸準備積立金	三、〇〇〇、〇〇
諸借入金	二九六、一六九、三九
假受金	二、三〇九、〇〇
未拂利息	二、五五一、〇八
當期純益金	二六、〇五八、〇四
合計	一、三六五、〇八七、五一

損益計算

一 金四萬九千三百四十七圓三十二錢也 總益金

内 金二万三千二百八十九圓二十八錢也 總損金

差引 金二万六千五十八圓四錢也 純益金

此分配計算左の如し

金六千圓也 積立金

金四千圓也 滯貸準備積立金

金二千四百三十五圓八十錢也 賞與金

金一万二千五百圓也 配當金(年一割之割)

金一千百二十二圓二十四錢也 後期繰込金

右之通候也

京城起業株式會社

取締役社長 山口太兵衛

専務取締役 和田常市

取締役 古城營堂

取締役 中村再造

取締役 關繁太郎

前記の各項調査候處相違之無候也

監査役 松尾福五郎

監査役 梶原末太郎

監査役 萬玉岩吉

各種洗濯石鹸

專門製造販賣

用途

陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

●祝開業三週年●

江湖御客樣方の御引立に預り日ましに繁榮に赴き誠に難有仕合に奉存候就きましては本年は恰も開業三週年に相當致候得者自祝の意を表する爲め當分の內左記之通り特別大勉强仕候間賑々數御光來の程伏して奉待上候あら〳〵可祝

諸紙 文具類 和洋帳簿

其他雨傘並ニ印入傘御注文ニ應ス 右何々安價販賣可仕候多少ニ不拘御用命仰付被下度候

京城南大門二丁目

美濃久紙店

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す 弊場は此に留意し好良の食料を給す



販賣元 京城本町五丁目（電四七番）松尾支店

搾取所 京城東四軒町（電七五番）松尾牧場

●弊場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

事務所移轉業務擴張廣告

從前の家屋狹隘に付今般左の地に事務所を移轉し大に業務を擴張し一層誠實懇篤を以て左の事務を取扱申候

追て司法權委任の際は更に新設の裁判所附近に便宜上出張所設置可致此段併て豫告仕候

業務要目

- 法律上諸般の質疑應答
- 訴訟及非訟事件に關する書類の作成
- 登記申請證明查證願に關する書類の作成
- 會社銀行組合の定欵諸般契約書類の立案
- 土地家屋の測量製圖
- 債權の取立讓受及紛議の仲裁

京城旭町一丁目二百八十二番戶

增本好三郎事務所

（電話千五十番）

◉エジプト煙草新荷着

皆さんニコチンの最も少なき純粹のエジプト煙草を御喫なさい

エキストラファイン	金口	價壹圓貳拾錢
スペッシャル（無巻）	同	價壹圓貳拾錢
アレキサンドラ	同	價壹圓五拾錢
オリンピヤア	キルク口	價壹圓八拾錢
ケジープ	金口	價貳圓
エキストラファイン	兩切	價貳圓
フロードオリエント	兩切	價參圓

京城本町二丁目

辻屋本店

本店電話（二四八）支店電話（三六六）

他地方よりの御注文は引替小包にて御送附申上候

官營平壤無煙炭特約一手販賣

弊店渡營噸に付

塊炭　金九圓九十錢

粉炭　同上　金七圓九十五錢

但叺持込費代は別に申受候

平壤炭は煤煙皆無にて火力及び持久力に富み至極經濟的なる燃料なり

京城南大門外古市町二丁目

苫米地造酒彌

（トマベチ ミキヤ）

- 中部鐘路通一丁目（電話九四一番）　中部出張所
- 西小門外獨立門通り（電話一三三八番）　西部出張所
- 龍山代理店（電話一五六番）　保高德松

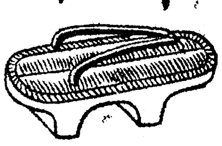
市內各所に取次店有之候に付御便宜の場所へ御申込被下度 御注文の節は必ず平壤無煙炭と御申込願上候

東京火災〔海上運送〕保險株式會社

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四山口呉服店 電話九番

資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

東京足袋



正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

本店東京

京城大和町一丁目（日の出橋際）大和屋

藤井出張店

電話二百〇五番

辯護士　特許代理業者

京城明治町二丁目（佛國敎會前）

岩田仙宗

電話三五四番

見本定價表無代早進呈

新荷着　手芸用羅紗

御案內

京城南大門角前

川商會代理店

川商店

電話八七番

賣出廣告

開業三週年紀念大賣出

十月二十二日より三十一日まで

現金に限り正札より一割引

よせ切見切品澤山あります

綿は五步引の事

綿類蒲團 呉服洋反太物商

明治町一丁目四ツ角

唐川商店

電話二六一番

會席御料理御一人前 肴四品付酒二本 金六十錢

すき燒其の外御好應

京城竹園町一丁目

遊樂樓

（元三遊樓跡）

會席二膳附 並等壹圓 上等壹圓半 特等貳圓

但御酒は上記代金の內にて召上り次第

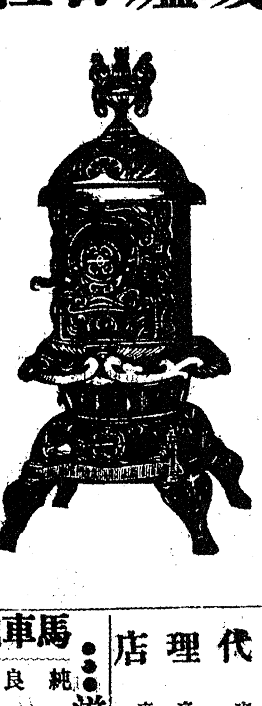
尙々十人以上の御宴會は御人數に應じ花代なしにて相應の藝妓をして御座敷を斡旋致させ申候

京城大和町三丁目 電話七三五

梅の家

廣告

暖爐各種



煙突取付並ニ煙突掃除大勉强

京城本町五丁目角一番戶 電四七一番

馬木勇吉

龍山山下町兵器廠官舍道入口 電三六四番

馬木支店

營業科目

- 活版、石版、銅版
- 各種印刷
- 帳簿裝釘、書籍
- 製本及ビ印刷
- 諸材料販賣

日韓印刷株式會社

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社 京城明治町三丁目 電話三二三番

出張所 東京麹町區麹町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

とろゝ汁　拾貳錢

麥飯　五錢

會席御料理御一人前 金五十錢 外二品御酒一本付

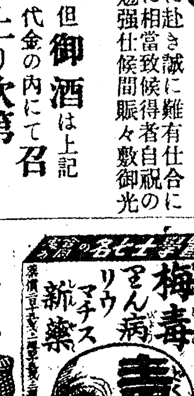
吸もの、さしみ、口取

京城曙町（元大韓日報社跡二階建）電話取次千四十二番

俵すし

楓善

折詰御辨當及出前は特に勉强御調進可申候間多少とも御注文希申候



完全ナル懐中藥



代理店

京城南大門通三丁目 藥井藥房本店

京城本町三丁目（電話一〇六八番九〇四番）新井藥房第一分店

京城南大門外 新井藥房第二分店

馬車配達

●●●滋養と牛乳●●●

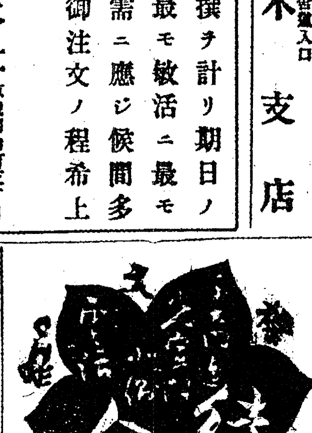
純良牛乳

●●●衛生と消毒●●●

京城東四軒町

岡野牧場

電話壹〇六九番



日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番

郡回漕店

- ●釜山長崎門司神戶行　山東丸　十月
- ●大連、太沽行　高砂丸　十一月十八日正午抜錨
- ●大連、大沽行　山東丸　十一月九日午前四時
- ●大連、大沽行　酒田丸　十一月四日正午時出
- ●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行　立神丸　十月二十七日午後出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●購讀料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金六十錢▲三ヶ月…▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月…
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回…▲…
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 …久神一郎
發行所 京城…京城新報社